

新しいごみ処理施設

中遠クリーンセンターが稼働します

笠原地区に建設が進められている新しいごみ処理施設「中遠クリーンセンター」が3月末に完成します。

豊沢にある現在のクリーンセンターは、施設の老朽化やごみ処理の広域化に伴い、3月22日(土)で稼働を終了します。3月24日(月)からは、袋井市と森町で構成する袋井市森町広域行政組合が運営する「中遠クリーンセンター」で可燃ごみを処理します。

☎袋井市森町広域行政組合清掃センター建設課建設係 ☎23-9217
中遠クリーンセンター ☎30-0530

新しいごみ処理施設の特長

高温で灰まで溶かします

中遠クリーンセンターでは、可燃ごみや可燃性の粗大ごみ（たんす、布団、じゅうたんなど）のほか、下水や尿の汚泥なども焼却することができます。

また、ただ単に燃やすだけではなく、燃えない物質（灰分など）も、1,700〜1,800の高温で溶かしてしまします。

環境対策も万全です

排ガスに含まれるダイオキシンや窒素酸化物、飛灰（排ガス中の灰）に含まれる有害物質の排出を様々な方法で抑えます。

これらの有害物質については、法律より厳しい自主基準値により排出管理を行います（下表参照）。

排ガス処理

ダイオキシン対策

ごみを高温処理することでダイオキシンの発生を抑えます。ごみから発生した熱分解ガスも完全燃焼させることで、ダイオキシンを分解します。

高温の排ガスを急冷し、ダイオキシンの再合成域（300）を一気に通過させることで、ダイオキシンの再合成を抑えます。

排ガス中に活性炭を吹き込み、

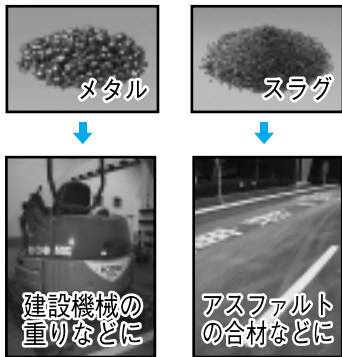
ダイオキシンを吸着させて、バグフィルター（ろ布）で捕集します。

触媒を使い、酸化分解します。その他の有害物質への対策ばいじんは、バグフィルターで捕集します。

硫黄酸化物や塩化水素は、消石灰と化学反応させ無害化し、バグフィルターで捕集します。窒素酸化物は、アンモニアと化学反応させ無害化し、触媒脱硝塔で取り除きます。

排ガス排出規制値

物質名	法規制値	自主規制値
ダイオキシン	1.0ng-TEQ/Nm ³ 以下	0.05ng-TEQ/Nm ³ 以下
ばいじん	0.08g/Nm ³ 以下	0.01g/Nm ³ 以下
硫黄酸化物	約3,100ppm以下	20ppm以下
塩化水素	約430ppm以下	40ppm以下
窒素酸化物	250ppm以下	30ppm以下



再資源化の例

溶融物をリサイクルします
 中遠クリーンセンターでは、燃えない物質（灰分など）をさらに高温の溶融炉で溶かしてスラグ（砂に似た物質）とメタル（金属のかたまり）にします。スラグは、砂の代わりとしてアスファルトの合材などに、メタルは建設機械の重りなどに再利用されます。

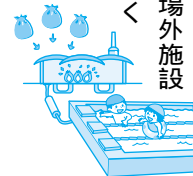
飛灰処理

飛灰（排ガス中の灰）は、バグフィルターで捕集後、薬剤で安定させ、無害化します。

その他の物質は高温で溶かし資源として再利用するため、中遠クリーンセンターから発生する埋め立て物は、この飛灰のみとなります。そのため、これまでのごみ処理施設と比べ、最終処分量を2分の1から3分の1に抑えることができます。

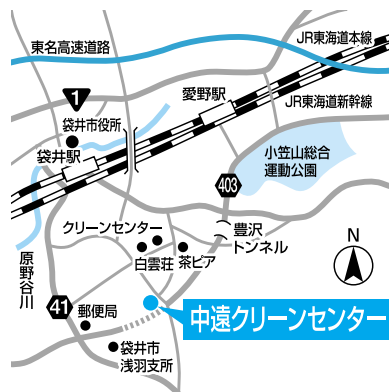
焼却熱の有効利用

ごみを燃やした熱により発電を行い、中遠クリーンセンター内の電力として利用します。また、余熱は场外施設へ送り、無駄なく利用します。



中遠クリーンセンター施設概要

所在地 袋井市岡崎6635番地の192（右図参照）
 工事費 62億2,650万円
 施設構造 地下1階、地上4階
 （敷地面積 約12,000㎡ 延床面積 約7,800㎡）
 処理能力 132トン/日（66トン/日×2炉）
 処理対象物 可燃ごみ、可燃性粗大ごみ（たんす、布団、じゅうたん類）、破碎処理残さ、下水汚泥、し尿汚泥



3月24日(月)からの可燃ごみは新しい中遠クリーンセンターへ

中遠クリーンセンターの稼働に伴い、豊沢にあるこれまでのクリーンセンターへの可燃ごみの搬入は、3月22日(土)で終了となります。

3月24日(月)以降の可燃ごみの搬入は、新しい中遠クリーンセンターへお願いします。

搬入開始日 3月24日(月)～

搬入受付時間 月～金曜日...午前9時～午後0時15分、午後1時～午後4時30分

土曜日...午前9時～正午

手数料 100kg以下...7円/kg

100kg超...13円/kg

搬入経路 次の～の手順で搬入してください。

出入口(市道東同笠油山線)から入場

計量棟にて車両を計量

プラットフォームでごみ投入

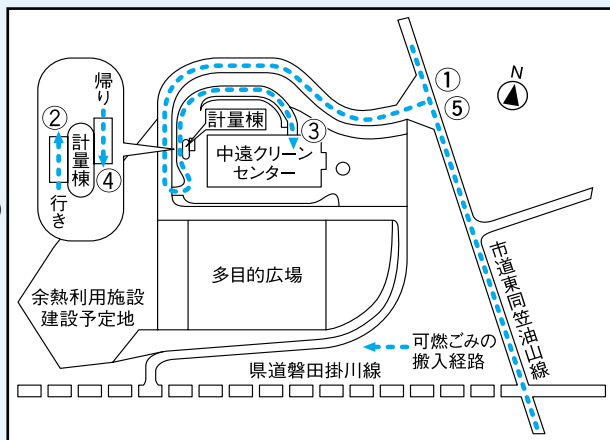
計量棟にて再び車両を計量し、手数料を払う

出入口から出場

日曜日、祝日、年末年始は休みです。

袋井市森町広域行政組合清掃センター建設課建設係 ☎23-9217

中遠クリーンセンター ☎30-0530



施設エリアの愛称が「サンサーライ」おかに決定

中遠クリーンセンターを含む施設エリア全体の愛称を公募したところ、151件の応募をいただき、根津和弘さん(山田)の「サンサーライ」におかに決定しました。

愛称の意味

「サンサーライ」は、サンスクリット語で「自然界の循環」、「再生」、「生まれ変わる」を意味する言葉です。新しいごみ処理施設が、ものの再利用やリサイクルの発信源となつてほしいとの願いを込めてつけられました。